



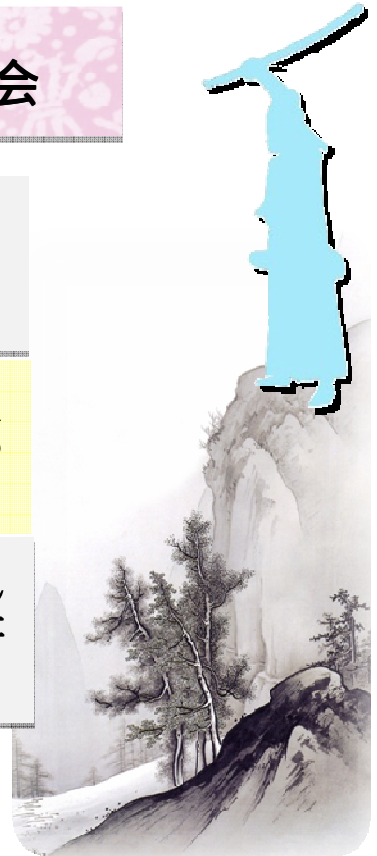
平成24年度
ヴォックス
音楽吟詠会

全国吟詠コンクール決勝大会

平成24年10月14日(日)
長野市篠ノ井市民会館
信越地区本部担当

全国の地区本部大会を勝ち抜いた
128名と8組の吟者が、気迫の
吟詠を披露しました。

文部科学大臣賞は、田辺正幸さん
(第三部：信越地区代表)が見事
受賞しました。



田辺正幸さん



善光寺



ご挨拶 ヴォックス音楽吟詠会会長 岩淵 公胤



春寒の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素はヴォックス音楽吟詠会の発展のために格別のご厚誼にあずかり、厚く御礼申し上げます。

昔から「健全なる精神は、健全な身体に宿る」と申します。

とにかく健康第一！その基本は「教養がある、教育がある」、「今日、用がある、今日、行くことがある」事を続ける事です。そして更に“一怒、一老”、“一笑、一少”の怒は避けたいものです。

「流派の持つ素晴らしい持ち味を生かした、芸術吟詠で荒廃した人の心を詩吟の魂で生き返らせたい」という初代会長故南雲一廣先生のこの遺訓をしっかりと胸に抱き、そして会員全員が心を一にし、一步一步確実に前進することが、私達吟道を歩む人の大切な任務かと存じます。

人様に感謝し、人様のお蔭ということを一時も忘れることなく、そして「よき友は最高の財産！」であり、健康の源は吟剣詩舞であり、元気は何よりの“宝”です。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げますと共に、全国会員の皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶 ヴォックス音楽吟詠会総本部事務総長 草薙 典龍



東日本大震災から2年近くが経過しようとしていますが、未だに避難生活を強いられている方々の現状は、心痛止みません。心よりお見舞い申し上げます。

ヴォックスとは皆様ご存じのように、ギリシャ語で【王冠の飾り】のことで、「声の王様」を意味します。

私はその崇高な志を忘れることなく、偉大な先輩諸氏が残された数々の功績に、恥じることはないようにこれからも邁進する決意です。

皆様の惜しみない絶大なるお力をお借りし、この伝統ある本会を益々発展し「人の心に息吹きを与える真の芸術吟詠」をめざし共に歩んでまいりたいと存じます。

寒い時節柄、ご健康にはくれぐれもお気を付けください。

3月14日に岩国市に於いて開催される第四回定時総会で、皆様にお会いできることを大変楽しみにしております。

初代会長故南雲一廣先生は各流派を超越した「音楽性豊かな、真の芸術吟詠を確立して、荒廃した人心を吟詠の魂で生き返らせたい」と提唱し、ヴォックス音楽吟詠会を創立されました。

平成24年度
第三十三回

全国決勝大会風景

平成24年10月14日(日)
長野市篠ノ井市民会館



会長挨拶及び講評



優勝者に贈られるトロフィー・タテ 誰の手に!?



選手の気迫あふれる吟詠



司会者の方々、
本当にご苦労さまでした



ヴォックス之詩 大合吟



奨励賞受賞者、
おめでとうございます



中山国洲先生



岩淵会長と草薙事務総長



伴奏の先生方、
本当にありがとうございました

中山国洲先生、信越地区の皆様、ご苦労様でした！ありがとうございました！！
吟者の皆さん、さらにもう一層精進しましょう！



第一部優勝

石川 菜紘さん（中部地区代表）



(岩渕会長と一緒に)

「これからもがんばります！」

詩吟を始めたきっかけは、友達に誘われたからです。最初は照れたり、音程がとれず、なかなか上手にできませんでした。

でも、先生やほかの大人の人たちに、吟じ方や姿勢を教えてもらい、上達することができました。その成果が発揮されたのか、大会では優勝することが多く、とてもうれしいです。

これからもいろいろな大会で優勝できるように、がんばります！

第二部優勝

越谷 綾乃さん（群馬地区代表）



「さらに前進をめざして」

私は前橋東高等看護学校の二年生で、年齢は20歳です。流派は国壮流です。

吟詠は3歳の頃から祖母に習っており、中学に入ってから部活がありましたが、吟詠は続けておりました。

祖母の家の別棟に道場がありますので、時間の取れるときに吟詠の練習ができます。

吟詠について思うことは、第一に「体力づくりが必要だ」ということです。体が弱いと、道場に行くのがイヤになり、気分が乗らなくなりますが、体が丈夫だと練習が楽しくなります。

母も祖母から吟詠を習っているので、母と一緒に練習する機会が多いです。

第三部になるまでには、かなりの年数がありますが、文化祭や流派内の大会等もありますので、さらに前進をめざしてがんばります。

第三部優勝 (文部科学大臣賞)

田辺 正幸さん (信越地区代表)



「継続は力なり」

「今年度の全国決勝大会の文部科学大臣賞は、114番、信越地区代表田辺正幸さん!」、そんな結果発表が耳にとびこみ、なんとも信じがたい瞬間が長野市篠ノ井市民会館で起きました。

近所の詩吟の先生に誘われたのがきっかけで始めて早二十年、音域の狭い声帯に苦しんだ日々、何度詩吟は向いていないからやめようと考えたことか。

それでも詠うことが好きだった私は、いろいろなコンクールに出場、はじかれてもはじかれても、食らいついていった自分。いつしか吟詠の深い魅力に取りつかれていました。

恵まれた音域があれば、こんなにも練習しなかったかもしれません。コツコツと努力した者に神様がご褒美を下さったものと思います。

詩吟は難しい、とっつきにくいとよく言われますが、日本人なら忘れてはならない大切な心が詠まれている詩歌がたくさんあります。

詩吟の魅力をもっともっと多くの人に知ってもらい、誰にでも身近に口ずさめるような吟詠を目指し、これからも詩吟に親しんでいきたいと思っております。

荣誉ある賞をいただき、本当にありがとうございました。

第四部優勝

山崎 春代さん (信越地区代表)



「優勝の喜び」

「全国大会で優勝しなくては」。今は亡き宗家吉村誠道先生のお言葉でした。あれから二十数年の時が流れ、ようやく恩返しができるように思います。これもひとえに諸先生方、そして先輩の皆様のご指導の賜物と深く感謝いたしております。又家族の協力もあってのことでありがたく思っています。

東京、大阪、名古屋、遠くは熊本まで全国大会に足を運びました。今になれば楽しい旅でした。今回は地元長野ということで心身共リラックスしてのぞめたように思います。

吟と共に歩んだ三十五年間ですが、こんな大きなご褒美を頂けるなんて思ってもいませんでした。

ヴォックス音楽吟詠会で計画されたアメリカ公演に参加させて頂いたこと、誠道流の皆さまと中国へ行き、万里の長城で吟じることが出来ましたことなど、いろいろなことが今回の優勝につながっているように思います。これからも吟道に精進し、豊かな人生を歩めたら良いと思っております。

ヴォックス音楽吟詠会のますますのご発展を祈り、私にも何かご協力出来ればと存じます。この度は本当にありがとうございました。

第五部優勝

江原 耕司さん（中部地区代表）



「平常心で最後まで！」

去る十月十四日、長野市篠ノ井市民会館で全国決勝大会が開催されました。

本日の私の目標は「平常心で最後まで自分の音程で吟じること」でした。出吟までの間、コンダクターで自分の音程で吟譜を弾き、自分の気持ちを落ち着かせました。

さあ本番！、尺八、琴の伴奏に乗り、最後までいつもの練習と同じように吟じることができました。

競吟が終わり、講評、成績発表となり「第五部優勝 113番、江原耕司さん」と呼ばれました。「まさか、自分が優勝！？」と思いました。この栄冠を頂いた喜びは終生忘れることは出来ないと思います。

これからも驕ることなく「一生初心」の気持ちを忘れず頑張りたいと思います。

これまで熱心にご指導下さった金森先生に、心より感謝申し上げますと共に、今後ともよろしくお願いたします。

第六部優勝

中嶋 園子さん
伊東 礼子さん
曾根原 和子さん
竹淵 美佐子さん
林 光子さん
（信越地区代表）



「苦節二十有余年、栄冠を手にして」

この度の第六部（合吟の部）の全国優勝は、私たちにとって夢の様な出来事でした。

しかも地元篠ノ井で栄冠を手に来るとは思いもよらず、最高の喜びとなりました。

このチームを立ち上げて、二十有余年。私たち五人は、幾度か辛酸をなめ苦渋を味わい、その度に立ち上がって果敢に挑戦して参りました。

病気や家庭の事情でメンバーの入れ替わりが多少はあったものの、チームの基盤はびくともしませんでした。続けてきて良かったとつくづく思います。この大会では皆の心がひとつになり、和して精一杯吟じることが出来ました。ようやく花が開きました。

長年私たちを励まし指導して下さいました片倉清風、小林丹風両先生に心から感謝申し上げます。そして会の皆さまのご支援のおかげです。本当にありがとうございました。

第三十三回全国決勝大会（於長野市篠ノ井市民会館）を終えて

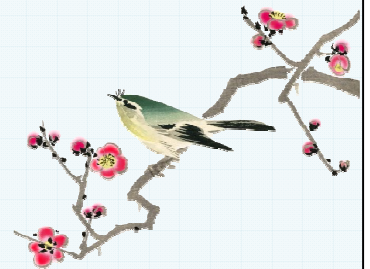
平成二十四年壬辰十月十四日

信越地区

（清風）片倉清彰

鳶飛魚躍邊千曲
會友金蘭契色明
腔調朗吟磨絶妙
動梁塵響麗如鶯
（下平声八庚韻）

とび と うお お どちくま ほとり
鳶は飛び魚は躍る千曲の邊
とも かい きんらん ちぎ いるあき
友は會す金蘭の契り色明らかにして
こうちょう ろうぎんま ぜつみょう
腔調の朗吟磨して絶妙
りょうじん うご ひび うるわ うぐいす ごと
梁塵を動かす響き麗しきこと鶯の如し



[語釈]

鳶飛魚躍－君子の徳化の良くおよんでいるさま。
千曲－千曲川。
友－同志。朋は同門。
色－顔色。表情や態度。
明－光り輝く。
腔調－ことばの調子。音楽の節まわし。発声は腔、律は調。
磨－切磋・琢磨。
動梁塵－歌声や音楽の優れて美しいこと。故事による。
麗－麗妙。うるはしくたへなること。



雑記…今年の大会は信越地区で行うこととなり、準備から終了まで地元北信の担当役員諸先生方の並々ならぬ御苦勞により、無事完遂することが出来ましたことを、心からお喜び申し上げます。

全国から集まった選手諸氏は勿論のこと、随行の先生方、応援の皆々様方が日本一長いと言われる風光明媚な千曲川の流れる当地へお元気な姿でお越し頂きまして、本当に有難うございました。

ヴォックス全国決勝大会も回を重ねる度に中身の濃い嬉しい大会となって参ったと存じますが、これも吟友諸氏に日ごろの切磋・琢磨を奨励されます会長先生、並びに本部役員の諸先生方のお蔭と存じます。一昨年地震以来、天候も益々不順となり、豪雨による災害や熱中症による患者の増加やらで、ただでさえ苦しい国の財政も益々苦しくなるばかりですが、吟道を通じて個々の精神は健全を保持して行かなければならないものと信じ、老躯に鞭を打って頑張っている次第です。

来年の大会も一層素晴らしい大会と成ります様、心から祈念致します。



漢詩二題

群馬地区本部長 国分 国壮

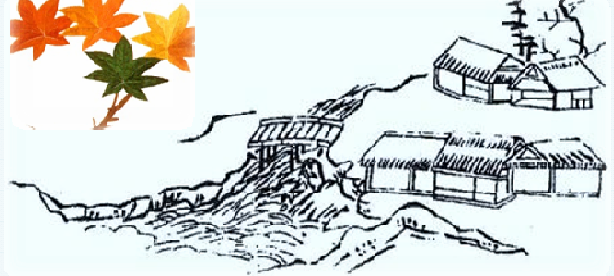
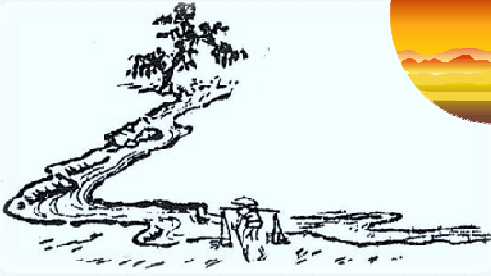


「新秋即事」

一片の詩情 松影横たわる
梧桐秋は到りて 早涼生ず
虫声閑淡 吟灯の下
楼上の星光 心更に清し
(仄起式下平声八庚韻)

「吟剣詩舞大会」

壇上の俊英 風格新たなり
欣然たり龍舞 心塵を払う
酸辛磨琢 何ぞ宏遠
求道の吟縁 声調純なり
(仄起式上平声十一真韻)



吟詠における「読み」の大切さについて

北関東地区本部長 生天目 輝風

ヴォックス音楽吟詠会コンクールに於いては、詩文の「読み」が、各流派の「読み」でよいので、吟者は悠々と吟ずることができ、評判も良く、素晴らしい事と思っております。但し、同じ「読み」でも「読み方」によって詩文の意味が異なる場合がありますので、注意を要します。

その一例を、高啓作の「胡隠君を尋ぬ」について申し述べます。

この漢詩はコンクールの題になることが多いので、今後の吟者に徹底してお伝えしたいと存じております。

通釈…「あちらで川を渡り、又こちらで川を渡り、そして、あちらで花を眺め、又こちらで花を眺める。このようにして、こちよい春風のそよ吹く川のほとりの道をのどかに歩いているうちに、いつのまにか胡隠君の家にとりついてしまった」と述べたものであります。

このように、この詩の作者である高啓が胡隠君の家を訪ねた時の詩であります。結句の「君が家」について、「君が」と「家」を区切ったり、「君が」の「が」の母音を伸ばしたり、振ったりすると胡隠君が高啓の家に来たことになってしまいます。これまで幾度となくこの誤った読み方で吟じているのを聞いており、しかも優勝した例もありますので、今後の審査に於いては注意していただきたいと思えます。尚このことについて以前に東京での決勝大会のとき、常任顧問の大井清先生が忠告されたのを覚えております。

白文
渡水復渡水
看花還看花
春風江上路
不覺到君家

読み下し文
水を渡り復水を渡り
花を看還花を看る
春風江上の路
覺えず君が家に到る

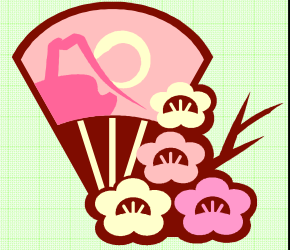
「余生」 生天目 輝風作
西山落日古今情
菜圃清遊野鳥声
八十三年如一夢
晴耕雨読送余生

第三回定時総会を終えて

神奈川地区本部長代行兼事務局長 山室 瑞山



日時 平成24年3月8日(木)
午後1時30分
場所 ニューウェルシティ湯河原
(神奈川県熱海市)



~~足柄(あしがり)の 土肥(とひ)の河内(かふち)に出ずる湯の 世にもたよらに子らが言はなくに~~(万葉集)

足柄の土肥とは今の湯河原です。温泉の湯煙がゆうゆうと空に浮動して定まらない様に二人の仲が頼りない。あの娘は決して言わないのだがなア・・・恋する心情を詠んだものです(湯河原文学ガイド)。

万葉集に温泉地として唯一詠まれている当地、湯河原温泉ホテルニューウェルシティに於いて平成24年3月8日(木)ヴォックス音楽吟詠会の第三回定時総会が総本部の主導と各地区本部のご協力により開催され、一般会員を含め、総勢六十余名、岩渕会長のご挨拶に始まり議事は粛々と進行し、諸議案は原案通り可決承認されました。何時もながら事務担当の先生方には本当にご苦労さまでした。

また、総会後の懇親会も唄や踊りで大いに盛り上がり、万葉の湯の街の夜は楽しい夢と共に静かに更けて行きました。

翌日、大型バスで参加された有志の方々と共に、近隣の小田原市内に在る二宮尊徳生誕地を訪れ、生家や記念館を見学、展示物や解説員の説明に一同改めて感銘を受けました。

その後、日本三大仇討の一つ、源頼朝の富士の巻狩りで本懐を遂げた曾我兄弟十郎五郎を祀る城前寺へと向かいました。

兄弟の墓前での松口月城作「曾我兄弟」の大合吟は梵鐘の様に響きました。この一帯は関東の名所「曾我梅林」、丁度満開で芳香が漂い、春雨に煙る中、大型バスの一行をお見送り致しました。

今回の総会、神奈川地区が運営の一端をお手伝いさせて頂きましたが、何分にも不慣れ、不行届きの点ご容赦下さい。

最後にヴォックス音楽吟詠会の益々の発展と会員皆様のご健勝ご多幸を祈念申し上げ、第三回総会終了のご報告とさせていただきます。



岩渕会長



草薙典龍先生



山室瑞山先生



岡田岳龍先生



懇親会

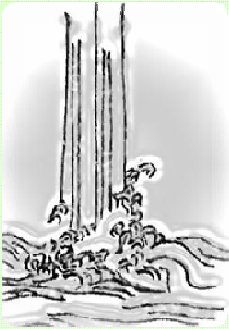
数えきれぬ「ヴォックス吟詠会の思い出」(忘れ得ぬ大井清先生、南雲一廣先生) 近畿地区会計理事 会計監査 石井岳粋



昭和六十年三月、大井清先生が主幹しておられたヴォックス吟詠会に、日本吟道岳龍会宗主・岡田岳龍先生が賛同し、私ども会員もヴォックス吟詠会に加盟いたしました。

ヴォックス吟詠会は南雲一廣先生を中心に、大井清先生、小林心風先生(今はみな故人となりました)たちが結成し、その後ヴォックス音楽吟詠会と改称し、群馬県から西中国まで広範囲に、毎年吟詠大会を通じ親交を深めてまいりました。

また過去には吟詠新風が主催して下さった中国友好の旅、南フランスでの日仏交流吟詠大会等々、現地での舞台を踏みましたことは、何よりのよい思い出として、そしてまた私の詩吟の大きな財産でもあります。ご一緒に旅した仲間と今一度あの様な楽しい旅がしたいと思います。美しい山に向かって「廬山瀑布を望む」を全員で吟じたことがついこの前の様に思い出されます。



私が日本吟道岳龍会・岡田岳龍先生主催の会に入会してからの詩吟人生は四十年近くに及びますが、ヴォックス音楽吟詠会を通じての大先輩、大先生方に親しく接したことが、私の人生にも大きく影響して本当にありがたく思っております。

大井清先生が主幹しておられた吟詠新風誌の三十年にも及ぶ大変貴重な綴りが私の手元にあります。その吟詠新風誌にヴォックス吟詠会の記事が数多くあり、南雲一廣先生に大井先生が大変共感しておられた様子が伺われます。

今更ながら大井先生が私たちに親切に接して下さった有難さ、尊い教えなどを心の支えとして、これからもヴォックス音楽吟詠会会員の一人として大きな希望を持って頑張っていきたいと思っています。

平成24年度 東京大会を終えて 事務総局 三ツ谷 静楼

平成24年度東京大会は5月27日(日)午前10時より府中市民会館 ルミエール府中 コンベンションホールに於いて、総勢六十四名の方々が出場して盛大に行われました。

大会委員長草薙典龍先生、大会総括岩淵公胤先生の下、多田羅心龍先生、荒井恵鳳先生、森山義鴻先生等多くの方々の努力が見事に実を結び、最初は本当に開催できるのだろうか、出場者は果たして何人集まるのだろうかと心配しておりましたが、まったくの杞憂にすぎませんでした。われわれ事務総局も総力を結集してお手伝いをさせていただきました。

出場者の皆さんもしっかり楽しんで頂けたことと思います。会場は緊張の中にも穏やかな雰囲気の流れ、出場者全員が熱吟されました。

競吟が滞りなく終了し、草薙典龍審査委員長の講評の後、結果発表。入賞者の喜びの声があちこちから聞こえてきました。勝ち上がった八名の方が晴れて全国決勝大会出場の切符を手に入れることが出来ました。

終了後スタッフ三十数名の方が一堂に集まり、本大会が無事終了したことを祝し、また慰労、反省を兼ねて、ささやかながら懇親会が開かれました。

今回の東京大会の成功を機として、本地区がもう一度以前のように活気に満ちた地区になることを切に念じながら会場を後にしました。



邦楽芸能大会」（中部地区）が開催されました



構成吟「源平哀史」



剣武道「四十七士」

平成24年11月18日(日)、中部地区友好会主催の「邦楽芸能大会」が名古屋市教育センターで開催されました。当日は吟詠、剣舞・詩舞、構成吟などの発表があり、また300余名の方が会場に来て下さり、1日を楽しみました。

最後は、デジカメ、CDラジカセ、湯沸かし電気ケトルなど、空クジなしの恒例の「お楽しみ抽選会」があり、会場は大いに盛り上がりました。
ヴォックス会員同士の友情は一層強まりました。

全国地区本部長会議が開催されました



平成24年10月31日(水)、名古屋クラウンホテルに於いて全国地区本部長会議が開催されました。岩渕会長、草薙事務総長ほか各地区本部長が参集し、ヴォックス音楽吟詠会の今後の運営などについて熱心に討議いたしました。



平成25年度 吟詠コンクール 課題吟



- | | |
|--------------|---------|
| 1. 春夜洛城に笛を聞く | 李 白 |
| 2. 河内路 上 | 菊地 溪琴 |
| 3. 寒 梅 | 新島 襄 |
| 4. 生 田 に 宿 | 菅 茶山 |
| 5. 名 槍 日 本 | 松 口 月 城 |
| 6. 芳 野 懐 古 | 藤 井 竹 外 |
| 7. 稲 叢 懐 古 | 太 幸 春 台 |
| 8. 新 正 口 号 | 武 田 信 玄 |
| 9. 偶 | 朱 熹 |
| 10. 菊 | 白 居 易 |
| 11. 九 月 十 日 | 菅 原 道 真 |
| 12. 舟中子規を聞く | 城 野 静 軒 |
| 13. 和歌・俳句 | 自作を除く |



第四回 定時総会の開催

日時 平成25年3月14日(木) 午後1時受付開始
 場所 岩国国際観光ホテル
 〒741-0062 岩国市岩国1丁目1-7
 TEL 0827-43-1111 FAX 0827-41-2483
 交通 山陽自動車道⇒岩国IC
 JR新幹線 新岩国駅よりタクシーで7分
 JR山陽本線 岩国駅よりタクシーで10分



平成25年度 第三十四回全国決勝大会

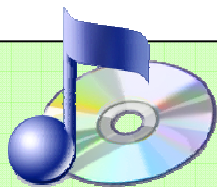
平成25年度年11月3日(日・祝日)
 近畿地区担当



CD発売

平成25年度吟詠コンクール課題吟詠及び
 平成24年度決勝大会優勝者吟詠集 ¥2,500

お買い求めは・各地区本部事務局へ



ヴォックス音楽吟詠会 ホームページご案内

<http://www.vox-ginei.com>
 活動記録・組織・記事等をご覧いただくことができます。

